



骨密度測定装置 (DXA法)



当院では、超音波による骨密度測定より
精度の良い最新のX線による骨密度測定装置を導入しました!

こつそしょうしょう

骨粗鬆症とはどんな病気?

骨の強度が低下して骨折しやすくなる骨の病気を「骨粗鬆症」と言います。骨粗鬆症により骨がもろくなると、転ぶなどのちょっとしたはずみで骨折しやすくなります。骨折が生じやすい部位は、背骨、太ももの付け根の骨などです。がんや脳卒中、心筋梗塞のように直接に生命をおびやかす病気ではありませんが、骨粗鬆症による骨折から、介護が必要になってしまう方も少なくありません。骨粗鬆症は痛みなどの自覚症状がないことが多く、定期的に骨密度検査を受けることなど、日ごろから細やかなチェックが必要です。

検査内容

骨密度測定：【骨の量そのもの】を測定する検査です。現在の骨の強さを確認することができます。専用の寝台に横になっていただいて検査を行います。測定時間は短く（5分程度）、放射線の被ばくは胸部レントゲン撮影の1/3~1/5程度です。

治療目的

骨密度の低下を抑え、骨折を防ぐことにあります。治療の中心は薬物治療になりますが、骨粗鬆症の発病には、食事や運動などの長年の習慣も深くかかわります。そのため、薬物治療とともに食事療法や運動療法も並行して行い、骨強度を高めていくことが重要です。

こんな方にお勧めです。

- 以前より身長が低くなった。
- 背中や腰に痛みを感じる。
- 家族に「骨粗鬆症」と診断された人がいる。
- お酒をよく飲む。
- (女性) 閉経を迎えた。
- (男性) 70歳以上である。
- 背中や腰が曲がってきた。
- 体を動かす事が少ない。
- タバコを吸う(吸っていた)。



当日検査可能!

主治医の先生にご相談ください。

お気軽にご相談ください!